

○計画期間：平成28年4月～平成33年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成28年度終了時点（平成29年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成28年4月以降、中心市街地活性化基本計画の「Re・Innovation 唐津～まちなか骨格軸の革新と歴史・文化のイノベーションによる、憧れの城下町・唐津～」というコンセプトのもと、「賑わいあふれる魅力ある商業の創出」、「訪れたい魅力ある観光の創出」の2つを活性化の目標に掲げ、43の事業を実施しているところである。

本市においては、平成28年11月に唐津くんちの曳山行事を含む「山・鉦・屋台行事」が世界無形文化遺産に登録され、また、唐津市の情景を写したアニメ「ユーリ!!!onICE」が放送されるなど中心市街地が活性化する動きがみられ、各商店街や城内地区においても国内外からの多くの観光客で賑わいを見せている。来年度以降、唐津城天守閣と旧大島邸がオープン予定であるので、さらなる魅力ある観光の創出に向けて好循環が生まれている。

また、まちなか骨格軸と位置づけられる呉服町商店街においては呉服町ファサード整備事業が順調に進捗しており、呉服町商店街が作成したガイドラインに沿って統一的な修景が形成されている。地元関係者も賑わいあふれる商業の創出にむけて具体的な取り組みの議論を重ねており、民間を主体とした商業活性化に関する気運が高まっている。しかしながら肌感覚としては実際にまちなかが活性化しているかという現状としてはそう言い切れない実態がある。実際に来街者満足度は8.35%（平成28年）と低い状態であり、市街地活性化のためには計画掲載事業だけでなく個々の民間事業者の取り組みも重要になっている。

今後も一層、市民や民間事業者との連携を深めることで賑わいと魅力の増大を図っていく。

2. 平成28年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

中心市街地活性化基本計画に掲げた事業が高い成果へと着実に繋がる必要があるため、協議会のほか、次世代を担う経営者の意見集約を図り、中心市街地の商業活性化に関する具体的な取り組み内容等をまとめたアクションプランを作成し、官民連携し活性化の取り組みを推進していくこととなった。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
賑わいあふれる魅力 ある商業の創出	空き店舗率	22.77% (H26)	16.69% (H32)	23.19% (H28)	-	①
	来街者満足度	19.43% (H27)	32.53% (H32)	8.35% (H28)	-	①
訪れたい魅力ある 観光の創出	中活エリア観光施設 入り込み客数	314,130 人 (H26)	339,551 人 (H32)	274,433 人 (H28)	-	③

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

平成28年度が計画初年度であることから実施中の主要事業も多く、現時点では、事業の進捗と数値目標の達成見通しの関連を詳細に把握できる状況にない。

目標指標のうち、「空き店舗率」については基準値と比べて微増しているが、主要事業である空き店舗チャレンジ誘致事業、呉服町ファサード整備事業が順調に進捗しているため、現在検討されている新天町パティオ整備事業の効果も併せて平成32年度の目標達成が可能であると考ええる。

「来街者満足度」については、「満足」もしくは「不満足」と感じている人は少なく、「普通」と感じている人の層が厚いという結果になった。楽観視できる状況にはないが、地元関係者と連携しながら、着実に取り組みを進めることで、目標を達成できるものと見込んでいる。

「中活エリア観光施設入り込み客数」については、同じく基準値より減少しているが、主要観光施設である唐津城天守閣の改修事業の影響であり、他の施設の来場者も増加しているため目標達成可能であると考ええる。

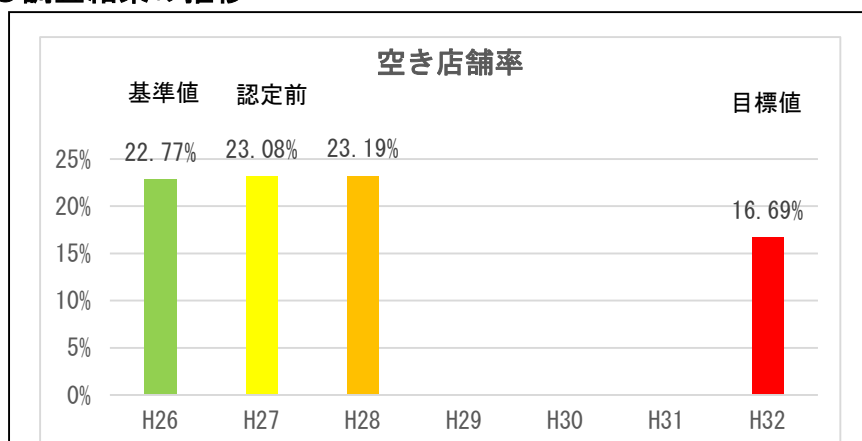
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「空き店舗率」※目標設定の考え方基本計画 P65～P67 参照

●調査結果の推移



年	(単位：%)
H26	22.77% (基準年値)
H28	23.19%
H29	
H30	
H31	
H32	16.69% (目標値)

※調査方法：目視による空き店舗確認

※調査月：平成28年10月

※調査主体：佐賀県

※調査対象：唐津中央商店街（協同組合呉服町商店街、協同組合京町商店街、中町商店街協同組合、刀町振興会）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗チャレンジ誘致事業（唐津市）

事業完了時期	平成32年度（実施中）
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店の際、店舗改装費及び広告宣伝費の補助と併せて、商工会議所との連携による経営サポート等の支援による店舗誘致事業。
事業効果及び進捗状況	平成28年度は4つの出店者が本事業の支援を受けて空き店舗に出店しており（刀町2件、呉服町1件、米屋町1件）、空き店舗数の減少につながった。今後も事業を継続することで空き店舗率の減少が期待される。

②. 新天町パティオ整備事業（いきいき唐津株式会社）

事業完了時期	平成30年度（実施中）
事業概要	呉服町商店街の一部をパティオとして整備し、商業施設として新たなテナントを誘致、新たな滞在型空間を作り出す。
事業効果及び進捗状況	平成28年度は各商店街、商工会議所などを交え会議が行われ、施設のコンセプトや商業活性化のために必要な機能などの検討が進められた。今後、施設整備のための具体的な検討が行われる予定である。

③. 呉服町商店街ファサード整備事業（呉服町商店街組合員）

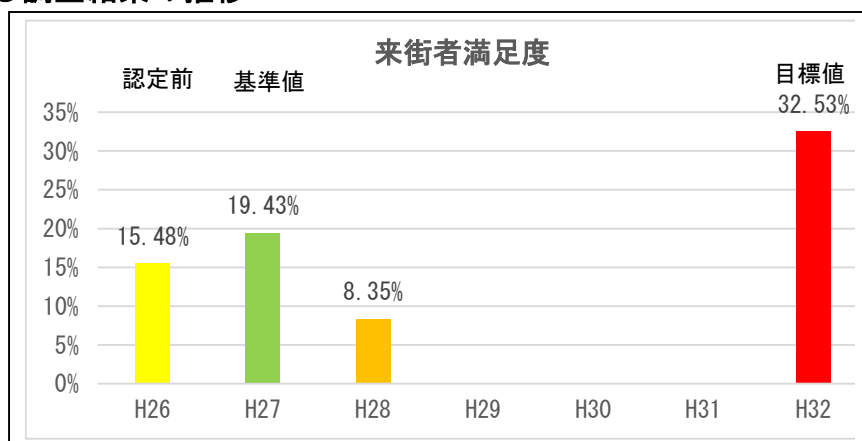
事業完了時期	平成29年度（実施中）
事業概要	呉服町商店街が策定した景観まちづくりのガイドラインに基づき各店舗が店舗前面部分の改装を行い、その改装費の補助を行う。
事業効果及び進捗状況	平成28年度は13店舗がファサード改装を行った。27年度分（11店舗）を合わせると24店舗になり呉服町商店街は統一した修景になりつつある。商店街の通りのイメージが向上することにより新規出店を促す効果が期待される。

●目標達成の見通し及び今後の対策

中活基本計画において毎年3店舗の空き店舗解消を見込んでいる。今年度は空き店舗チャレンジ誘致事業により4つの新規事業者が空き店舗に出店しており計画の見込みを上回った。ただ、退店も目立っており平成28年度の空き店舗率に改善は見られなかった。今後も、空き店舗を解消する新規出店者募集だけでなく持続可能な商業活性化を地元関係者との連携を図りながら、やる気のある起業家や繁盛店作りを支援していきたい。

「来街者満足度」※目標設定の考え方基本計画P70～P79参照

●調査結果の推移



年	(単位：%)
H27	19.43%
	(基準年値)
H28	8.35%
H29	
H30	
H31	
H32	32.53%
	(目標値)

※調査方法：来街者に対する聞き取り調査

※調査月：平成28年5月27日（金）、6月5日（日）

※調査主体：唐津市

※調査対象：中心市街地商店街への来街者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗チャレンジ誘致事業（唐津市）

事業完了時期	平成32年度（実施中）
事業概要	【再掲】中心市街地の空き店舗に出店の際、店舗改装費及び広告宣伝費の補助と併せて、商工会議所との連携による経営サポート等の支援による店舗誘致事業。
事業効果及び進捗状況	H28年度は4つの事業者が誘致事業の支援を受けて空き店舗に出店しており（刀町2件、呉服町1件、米屋町1件）、空き店舗数の減少に寄与している。今後も事業を継続し「暗い・寂しいイメージ」といった来街者の声の減少が期待される。

②. 新天町パティオ整備事業（いきいき唐津株式会社）

事業完了時期	平成30年度（実施中）
事業概要	【再掲】呉服町商店街の一部をパティオとして整備し、商業施設として新たなテナントを誘致、新たな滞在型空間を作り出す。
事業効果及び進捗状況	商店街、商工会議所を交えながらパティオ整備事業推進委員会により具体的な検討・意見のとりまとめが進められている。

③. 呉服町商店街ファサード整備事業（呉服町商店街組合員）

事業完了時期	平成29年度（実施中）
事業概要	【再掲】呉服町商店街が策定した景観まちづくりのガイドラインに基づき各店舗が店舗前面部分の改装を行い、その改装費の補助を行う。
事業効果及び進捗状況	平成28年度は13店舗がファサード改装を行った。27年度分（11店舗）を合わせると24店舗になり呉服町商店街は統一した修景になりつつある。商店街の通りのイメージが向上することにより来街者満足度の向上が見込まれる。

④. バスの乗り方教室の実施（昭和自動車株式会社）

事業完了時期	平成32年度（実施中）
事業概要	バスの乗り方がわからないという若年層・高齢者にバスを身近に感じてもらうためバスの乗り方・マナー啓発を行うことによりバス利用者を増やす。
事業効果及び進捗状況	中心市街地から離れている小学校を対象にバスの乗り方教室を実施した。バスへの理解が進み、利用者の要望がバス会社にも伝わることで、利便性が向上し来街者満足度の向上が見込まれる。

⑤. 子育て支援拠点事業（唐津市）

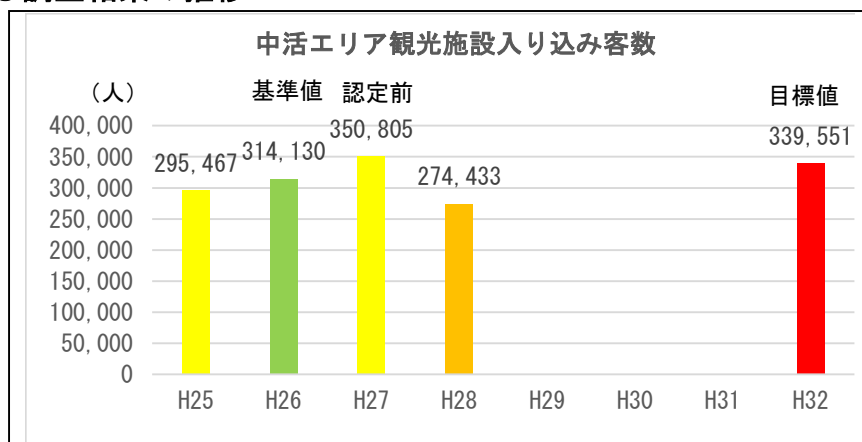
事業完了時期	平成28年度（済）
事業概要	子育て支援の拠点を設置し、子育てしやすい環境の充実を図ることとともに、来街者の回遊を促進する事業
事業効果及び進捗状況	平成28年度は、中心市街地にある障がい者支援センター（りんく）の3階及び4階部分に「唐津市子育て情報センター」の整備を実施し、平成29年4月にセンターを開設した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成28年度の来街者満足度調査において、「満足」と感じている割合は低下しているが、「不満足」と感じている割合もさらに低下している。そして「普通」と感じている層が厚くなってきている。この「普通」と感じている来街者たちの満足度をいかに上げていくかが課題となっている。平成28年度に商業活性化に関する具体的な取り組み内容をまとめた「アクションプラン」を策定しており、今後、このプランに基づく取り組みを推進することにより来街者満足度の向上を図りたい。

「中活エリア内の観光施設入り込み客数」※目標設定の考え方基本計画 P79～P85 参照

●調査結果の推移



年	(単位:人)
H27	314,130 人 (基準年値)
H28	274,433 人
H29	
H30	
H31	
H32	339,551 人 (目標値)

※調査方法：中心市街地内に立地する観光施設6施設の入場者数の合計

※調査月：平成28年4月1日～3月31日

※調査主体：唐津市

※調査対象：観光施設入場者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 城内地区・曳山通り景観まちづくり事業（唐津市）

事業完了時期	平成28年度（済）
事業概要	「景観計画における重点地区のための景観条例」の改正を行い、良好な住宅地としての城内地区や商業併用住宅としての曳山通りの美しい町並みの保全・誘導を図る。
事業効果及び進捗状況	各町内説明会・駐在員説明を行い、城内地区・曳山通り景観まちづくり景観に関するルールを作成。平成29年3月に景観条例の改正を行い、同10月から運用を開始する。

②. 旧大島邸復原整備事業（唐津市）

事業完了時期	平成29年（実施中）
事業概要	城内地区に残る旧大島邸を文化交流の結節点として母屋、茶園、茶室などを復原後、休憩所やイベント会場として活用し、中心市街地の交流人口の増加を図る。
事業効果及び進捗状況	平成28年度は順調に復原事業が行われており、平成29年4月にオープン予定である。19700人の入場者を見込んでおり、今後、観光客が訪れるだけでなく、茶会や展示の会場など新たな文化交流の拠点として活用も期待される。

③. 南城内駐車場整備事業（唐津市）

事業完了時期	平成29年（実施中）
事業概要	旧大島邸復原整備事業と併せて邸宅に付随する駐車場と南城内駐車場を一体的に整備することで、旧大島邸とともに、観光の拠点化を図る。
事業効果及び進捗状況	地元調整の遅れで完成時期を平成29年4月に繰り越した。旧大島邸の隣接地に141台分の駐車場の整備を行い、利便性の向上により5000人の観光客数の増加が期待される。

④. 唐津城天守閣改修等事業（唐津市）

事業完了時期	平成29年（実施中）
事業概要	中心市街地のランドマークとなっている唐津城天守閣の維持及び観光客の入館の増加を図るために、天守閣の耐震補強及び空調設備の新設や資料の保存、活用を図るための展示ケース等の改修を実施する。
事業効果及び進捗状況	10月から改修工事を開始したが、耐震工事を追加したことにより当初計画より遅れ、平成29年7月のオープンを目指している。唐津市の主要観光施設である唐津城天守閣をリニューアルすることで観光施設入り込み客数の増加が期待される。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要観光施設である唐津城の改修工事の影響で基準値よりも観光施設入り込み客数が減少しているが、来年度以降、唐津城天守閣改修事業と旧大島邸復原事業が完了し来街者が利用できる観光施設がさらに増えるため、目標を達成できる見込みである。

また、唐津くんちの世界無形文化遺産の登録、「ユーリ!!!onICE」とのコラボしたイベントの開催等により、唐津市への来街者は増加している。

これが一過性のものにならないよう、街なかの回遊性の向上、市街地の景観と魅力の向上を図り、さらなる来街者の増加につなげていく必要がある。